

●胃がん検診部会

開催日	平成30年12月6日(木)
委員構成	奈良県がん予防対策推進委員(◎山田委員、伊藤委員、赤羽委員)、一次検診実施機関(松村委員、菊川委員)、精密検査医療機関(山尾委員) 計6名
議題 議論内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 奈良県のがん対策について (2) 平成29年度市町村胃がん検診受診率等(速報値)について (3) 平成30年度胃がん検診の実施状況について (4) 精度管理について <ul style="list-style-type: none"> ①チェックリストについて ②胃内視鏡検診画像評価について ③胃がん検診従事者研修会について (5) 胃内視鏡検診実施要領改定について (6) 胃がん検診精密検査医療機関現況調査票について (7) その他
課題	<ul style="list-style-type: none"> ① 集団検診機関における胃がん検診の精度管理の体制をいかに整えていくか。 ② 胃内視鏡検診(一次検診)で二次読影の結果、判定困難画像を多く出す医療機関に対し、今後の対応をどうするか。 ③ 胃がん検診の従事者の資質や精度の向上 ④ 地域保健・健康増進報告(国への報告)と実施要領の様式の相違に対する対応(様式の変更)。
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ① 集団検診機関のチェックリストを各集団検診機関に送付。(胃がん検診部会として) ② 判定困難画像を多く出す医療機関には、今年度は従事者研修会の個別案内をし、次年度以降は、画像評価委員会が実施する画像評価の場に来てもらい、胃がん部会委員による指導を実施。 ③ 胃がん検診従事者に対する研修会を実施。平成30年度は1月5日(土)に胃X線検診と胃内視鏡検診の従事者研修会を同時実施。 ④ 地域保健・健康増進報告に併せた様式に変更。 ⑤ 1月10日のがん予防対策推進委員会で、胃がん検診精密医療機関への現況調査実施の承認された場合、2月頃に当医療機関に対して現況調査を実施。

●肺がん検診部会

開催日	平成30年9月26日（水）
委員構成	奈良県がん予防対策推進委員会委員（◎室委員）、一次検診実施機関（森下委員）、精密検査医療機関（本津委員、杉村委員、田口委員） 計 5名
議題 議論内容	<p>(1) 奈良県のがん対策について</p> <p>(2) 平成29年度市町村肺がん検診受診率等（速報値）について</p> <p>(3) 平成30年度肺がん検診の実施状況について</p> <p>(4) 精度管理について →奈良県肺がん検診実施要領の改定について検討（実際の検診に即した内容の検診様式となるよう議論した）。また、がん検診精密検査医療機関現況調査票の内容について検討し、今年度新たに専門医に関する項目を追加し、現状を把握することとした。</p> <p>(5) その他</p>
課題	<p>①肺がん検診精密検査医療機関の基準として、CTによる画像診断や気管支鏡による組織・細胞診検査（診断）ができることとされているが、両方とも実施可能な他の医療機関等への委託が可能となっており、精密医療機関の基準が曖昧ではないか。</p> <p>②CTについては、検査はできて、呼吸器内科や胸部の専門医が読影をしているのか。</p> <p>③地域保健・健康増進報告（国への報告）と実施要領の様式の相違に対する対応（様式の変更）。</p>
今後の予定	<p>①がん検診精密医療機関現況調査票で医療機関に対し、専門医の状況について確認する項目を追加して現状を把握する。</p> <p>②調査結果を基に、肺がん検診精密検査医療機関の基準について検討する。</p> <p>③奈良県肺がん検診実施要領の改正を行い、地域保健・健康増進報告に併せた様式に変更。</p>

●大腸がん検診部会

開催日	平成30年11月30日
委員構成	奈良県がん予防対策推進委員会委員（◎小山委員）、一次検診医療機関（榎本委員）精密検査医療機関（石川委員・中山委員） 計 4名 ※錦織委員欠席
議 題 議論内容	<p>(1) 奈良県のがん対策について</p> <p>(2) 平成29年度市町村大腸がん検診受診率（速報値）等について</p> <p>(3) 平成30年度大腸がん検診の実施状況について</p> <p>(4) 精度管理について →がん検診受診率及び精検受診率向上のための普及啓発について意見があった。また、精検受診率が低い要因についても意見交換した。</p> <p>(5) 奈良県大腸がん検診実施要領の改訂について →便潜血検査の検体保存方法について広く周知を行うため、実施要領の検体保存に関する項目を強調した。また、市町村が国へ報告する様式の変更に伴い、項目の追加と、実際の検査に即した内容の様式となるよう精密検査様式について検討した。</p> <p>(6) 大腸がん検診精密医療機関現況調査票について →大腸がん検診精密医療機関に対する調査票の項目について検討した。</p> <p>(7) その他</p>
課 題	<p>①大腸がん検診（特に精密検査）の受診率が低い。</p> <p>②地域保健・健康増進報告（国への報告）と実施要領の様式の相違に対する対応（様式の変更）。</p> <p>③受診者へ検体の保存方法の周知が必要。</p>
今後の予定	<p>①精密検査の受診率向上に向け、苦痛の少ない精密検査方法についても、住民へ普及啓発する方法を検討する。</p> <p>②奈良県大腸がん検診実施要領の改正を行い、地域保健・健康増進報告に併せた様式に変更。</p> <p>③検体の保存方法を周知するため、様式に追加する。</p>

●乳がん検診部会

開催日	平成30年11月29日（木）
委員構成	奈良県がん予防対策推進委員会委員（◎池田委員）、一次検診医療機関・精密検査医療機関（山本委員・小山委員）、集団検診機関（田畑委員） 計 4名
議題 議論内容	<p>(1) 奈良県のがん対策について</p> <p>(2) 平成29年度市町村乳がん検診受診率（速報値）等について</p> <p>(3) 平成30年度乳がん検診の実施状況について</p> <p>(4) 精度管理について → (2) の受診率、(3) の市町村における検診体制、また、がん検診チェックリスト調査（市町村・検診機関）の結果等から見える課題について改善のための指導・助言をどのように実施できるか検討した。</p> <p>(5) 奈良県乳がん検診実施要領の改訂について → 従来からの課題（症状ある者が検診を受けていることや読影に関する基準が曖昧であったこと）に対して、実施要領へ項目を追加。また、検診様式の変更について検討し、現場の状況に即した内容となるよう検討した。</p> <p>(6) 乳がん検診精密医療機関現況調査票について → 乳がん検診精密医療機関に対する調査票の項目について検討した。</p> <p>(7) その他</p>
課題	<p>①地域保健・健康増進報告（国への報告）と実施要領の様式の相違に対する対応（様式の変更）。</p> <p>②県で定める乳がん検診精密検査医療機関の登録基準が、日本乳癌検診学会が定める施設基準に則っていない。 また、精密検査医療機関の登録に関する周知が不十分。</p> <p>③高濃度乳房への対応に関する方針が定められていない。</p> <p>④乳がん検診の精度管理における精密検査の拾い上げすぎへの対応。</p>
今後の予定	<p>①奈良県乳がん検診実施要領の改正を行い、地域保健・健康増進報告に併せた様式に変更。</p> <p>②乳がん検診精密医療機関現況調査にて、登録精密医療機関の施設の状況と日本乳癌検診学会の定める施設基準を比較する。 上記調査結果をもとに、県で定める精密医療機関の登録基準について検討を行う。</p> <p>③県内医療機関への精密医療機関の登録に関して医師会等を通じて周知徹底を行う。</p> <p>④高濃度乳房への対応について国の動向を注視しつつ、市町村及び関係機関（医療機関等）へ周知を行う。</p> <p>⑤がん検診の精度向上のため、乳がん検診従事者研修会について検討する。</p>

●子宮がん検診部会

開催日	
委員構成	◎奈良県がん予防対策推進委員会（小林委員）、集団検診機関、細胞診専門医、医師会
議題 議論内容	<p>◆平成30年8月10日（金） 奈良県立医科大学産婦人科学教室 小林教授打合せ</p> <p>（1）奈良県子宮がん検診実施要領について →H29年度、実施要領を改定したところだが、地域保健・健康増進事業報告の報告様式変更に伴い、精検様式を変更する必要がある。該当項目のみの変更で対応可能であるためメール等で相談することとなる。 ※報告様式の変更点については小林教授あて送付済み。</p> <p>（2）その他 →奈良県では不適正検体が殆どない状況。</p>
課題	<p>①地域保健・健康増進報告（国への報告）と実施要領の様式の相違に対する対応（様式の変更）。</p> <p>②奈良県では不適正検体が殆ど見られていないが、通常一定数不適正検体はあることから、検査機関で不適正検体でも検査を行っており、見逃しが生じている可能性があるのではないか。</p>
今後の予定	<p>①奈良県子宮がん検診実施要領の改正を行い、地域保健・健康増進報告に併せた様式に変更。</p> <p>②不適正検体の実態把握（把握方法）について検討する。</p>